

## リクソー・ヘッジファンド・セレクション トランストレンド・エンハンスト連動ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間と クローズド期間	信託期間は2009年12月10日から2017年12月21日までです。クローズド期間はありません。
運用方針	投資信託財産の積極的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	「コデイス・セキュリティーズ・エス・エイ」が発行する米ドル建てユーロ・ミディアム・ターム・ノート（「パフォーマンス連動債」）を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産（外国通貨表示の有価証券、預金その他の資産をいいます。）への投資割合については制限を設けません。 株式への投資割合は、取得時において、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき、収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。収益分配にあつては投資信託財産内に留保した利益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### 第9期 償還運用報告書(全体版)

《償還日 2017年12月21日》

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「リクソー・ヘッジファンド・セレクション トランストレンド・エンハンスト連動ファンド」は、信託約款の規定に基づき、2017年12月21日に繰上償還となりました。ここに謹んで運用状況と償還の内容をご報告申し上げます。

当ファンドをご愛顧いただきましたことに対して、厚く御礼申し上げます。

## リクソー投信株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目1番1号  
パレスビル

お問い合わせ窓口：運用・企画部  
電話番号：03-6777-6900

※土日祝・年末年始を除く9時～17時  
ホームページ <http://www.lyxor.co.jp>

## ■最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	債券組入 比 率	債券先物 比 率	純資産 総 額
	円	円	%	%	%	百万円
5期(2014年11月5日)	12,783	0	22.1	94.8	—	60
6期(2015年11月5日)	14,247	0	11.5	96.4	—	67
7期(2016年11月7日)	12,843	0	△ 9.9	97.1	—	60
8期(2017年11月6日)	13,333	0	3.8	98.2	—	62
(償 還 時)	(償還価額)					
9期(2017年12月21日)	13,864.94		4.0	—	—	65

(注1) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注2) 当ファンドの商品性に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。以下同じ。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰 落 率	債 券 組入比率	債 券 先物比率
(期 首)	円	%	%	%
2017年11月6日	13,333	—	98.2	—
11月末	13,744	3.1	98.2	—
(償 還 時)	(償還価額)			
2017年12月21日	13,864.94	4.0	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

## ■設定以来の運用経過等

### ●設定来の運用経過等（2009年12月10日から2017年12月21日まで）

#### 《基準価額の推移》

設定来の基準価額の推移

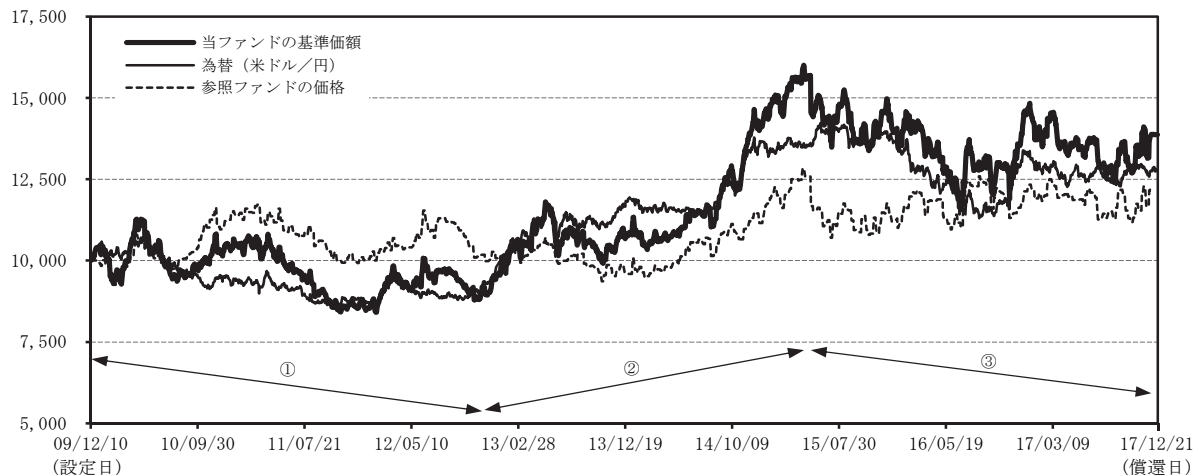


(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

#### 《設定来の基準価額の主な変動要因と投資環境》

当ファンドの設定時（2009年12月10日）から2011年末にかけては、米国の景気減速懸念や米連邦準備制度理事会（FRB）の金融緩和姿勢などを背景に為替市場が円高基調で推移したことはマイナスに影響したものの、その後、米国では雇用情勢の改善などから景気の回復が見え始めて金融正常化の観測が高まる一方で、日本では日銀による金融緩和政策が継続したことなどから、為替市場で円安米ドル高が進んだことがプラスに寄与しました。また、2013年以降堅調に推移した参照ファンドは、2015年半ば以降は軟調に転じたものの、当ファンドの運用期間において参照ファンドの価格が上昇したことが大きくプラスに寄与したため、当ファンドは設定来で+38.6%となりました（分配金再投資ベース、設定来の分配金0円）。

## 設定来の当ファンド、為替（米ドル／円）および参照ファンドの動き



※ 当ファンドの基準価額および為替（米ドル／円）は、設定日を10,000として指数化しています。また、参照ファンドの価格については、当ファンドの基準価額に反映している時点の価格を、設定日を10,000として指数化しています。

### （主な変動要因）

（下落）：①参照ファンドが底堅く推移するなか、為替が円高進行

（上昇）：②参照ファンドが堅調に推移するのに加えて、為替が円安進行

（下落）：③参照ファンドがレンジで推移する一方で、為替が円高進行

### 《運用経過》

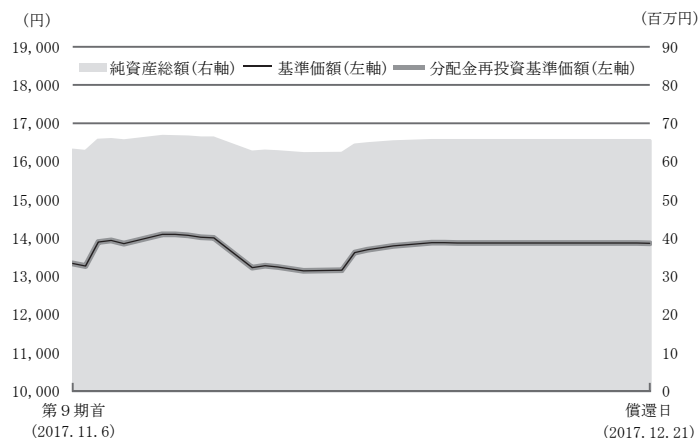
当初の運用方針に基づき、第1期から第8期まではファンド連動債を高位に組入れる運用を行いました。なお、第9期中、全口数解約申し込みへの対応に伴う繰上償還準備のために、当ファンドの主要投資対象であるパフォーマンス連動債を2017年12月上旬にすべて売却したことから、その後はキャッシュ代替の金融商品（有担保コール・ローン等）のみで運用を行いました。なお、償還時における有価証券の組入れはありません。

### 《分配金》

第1期から償還時まで、当ファンドの商品性格および基準価額水準等を考慮し、無分配とさせていただきました。

## ●当期中の運用経過（2017年11月7日から2017年12月21日まで）

### 《基準価額の推移》



第9期首	13,333 円
第9期末（償還日）	13,864.94 円
既払分配金	0 円
騰落率 (分配金再投資ベース)	4.0%

※ 分配金再投資基準価額の推移は、第9期首の基準価額をもとに委託会社で指数化したものを使用しております。

※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※ 当ファンドの商品性に適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

### 《基準価額の主な変動要因と投資環境》

当期においては、為替が期初比でやや円高に振れたことはマイナスに影響したものの、参照ファンドの価格の上昇がプラスに寄与しました。

第9期首（2017年11月6日）から11月下旬にかけては、次期米連邦準備制度理事会（FRB）議長人事を受けて現行の金融政策運営が継続されるとの見方などを背景に米国金利が低下したことなどから為替市場で円高・米ドル安が進行しました。その後、期末にかけては、税制改革法案成立に向けての期待感などを背景に為替市場では米ドルが上昇に転じる一方で、参照ファンドの価格も堅調に推移しました。

### 《運用経過》

当初の運用方針に基づき、2017年11月まではパフォーマンス連動債の組入れを高位に保つ運用を行いました。また、当初の運用方針どおり、保有する外貨建資産に対しての為替ヘッジは行いませんでした。

なお、パフォーマンス連動債を2017年12月上旬にすべて売却したことから、その後はキャッシュ代替の金融商品（有担保コール・ローン等）のみで運用を行いました。

### 《収益分配》

該当事項はありません。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期 (2017年11月7日～2017年12月21日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信 託 報 酬	16円	0.120%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は13,744円です。
（投 信 会 社）	(5)	(0.033)	・ 委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(11)	(0.080)	・ 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.007)	・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.022	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.007)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.001)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.014)	・ その他は、法定書類（有価証券報告書、半期報告書、運用報告書等）の作成、印刷等に要する費用
合計	19	0.142	

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。  
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ■ 期中の売買及び取引の状況（2017年11月7日から2017年12月21日まで）

### 公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	ル ク セ ン ブ ル グ	社債券(投資法人債券を含む)	千米ドル	千米ドル
			—	570

- (注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)  
(注2) 単位未満は切捨て。  
(注3) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## ■ 主要な売買銘柄（2017年11月7日から2017年12月21日まで）

### 公社債

買 付			売 付		
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
—		—	CODEIS SECURITIES SA(ルクセンブルグ)		64,573

- (注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)  
(注2) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

■利害関係人との取引状況（2017年11月7日から2017年12月21日まで）

(1) 期中の利害関係人との取引状況

区 分	当 期					
	買付額等 A	う ち 利 害 関 係 人 と の 取 引 状 況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	う ち 利 害 関 係 人 と の 取 引 状 況 D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 64	百万円 64	% 100.0
為 替 直 物 取 引	—	—	—	64	—	—

(注1) 公社債には現先などによるものを含まません。

(注2) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人は、ソシエテ・ジェネラル証券株式会社です。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	—千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	—千円
(B) / (A)	—%

(注1) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人は、ソシエテ・ジェネラル証券株式会社です。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産の明細（2017年12月21日現在）

償還時における組入れはありません。

## ■投資信託財産の構成

(2017年12月21日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 65,447	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	65,447	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本及び償還価額の状況

(2017年12月21日現在)

項 目	償 還 時
(A) 資 産	65,447,198円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	65,447,198
(B) 負 債	89,149
未 払 信 託 報 酬	79,315
未 払 利 息	170
そ の 他 未 払 費 用	9,664
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	65,358,049
元 本	47,139,064
償 還 差 益 金	18,218,985
(D) 受 益 権 総 口 数	47,139,064口
1万口当たり償還価額 (C / D)	13,864円94銭

<注記事項>

期首元本額	47,139,064円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	0円

## ■損益の状況

当期 (自2017年11月7日 至2017年12月21日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	42,581円
受 取 利 息	111
そ の 他 収 益 金	44,859
支 払 利 息	△ 2,389
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,558,866
売 買 益	3,480,333
売 買 損	△ 921,467
(C) 信 託 報 酬 等	△ 93,386
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	2,508,061
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	15,597,797
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	113,127
( 配 当 等 相 当 額 )	( 429,418)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 316,291)
(G) 償 還 差 益 金 (D + E + F)	18,218,985

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。



## ■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2009年12月10日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年12月21日			
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	資産総額	65,447,198円
受益権口数	340,169,683口	47,139,064口	△293,030,619口	負債総額	89,149円
				純資産総額	65,358,049円
元本額	340,169,683円	47,139,064円	△293,030,619円	受益権口数	47,139,064口
				1万口当たり償還金	13,864.94円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	300,460,809円	304,926,530円	10,149円	0円	0.0000%
第2期	244,097,238	209,652,751	8,589	0	0.0000
第3期	146,772,728	130,343,936	8,881	0	0.0000
第4期	83,512,796	87,434,261	10,470	0	0.0000
第5期	47,139,064	60,259,789	12,783	0	0.0000
第6期	47,139,064	67,160,846	14,247	0	0.0000
第7期	47,139,064	60,540,032	12,843	0	0.0000
第8期	47,139,064	62,849,988	13,333	0	0.0000

### 償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	13,864円94銭
----------------	------------